

令和元年度の主要事業紹介

令和元年度の主な事業について、総合計画の策定にあたって設けたまちづくりの3つのテーマに沿って紹介します。

1 未来へつなぐ人と暮らしづくり

① 結婚・出産・子育てを支えるまち

新規 出産後の母親の健診費用を助成 【516万円】

出産後の回復状態や授乳状況、精神状態などを把握するための産婦健康診査の費用を助成。



継続 教育・保育の充実 【25億4,622万円】

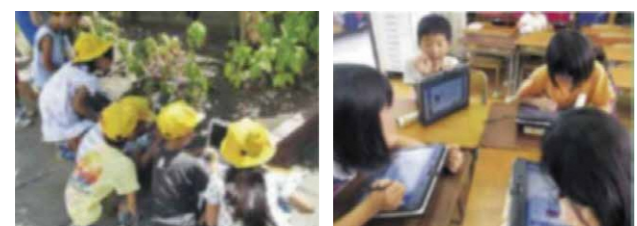
就学前後の児童に対して、教育・保育施設への入所給付事業およびアフタースクール事業を実施。また、保育教諭の処遇改善や保育士資格、幼稚園教諭の免許取得などを支援。



② 誰もが学び続ける環境のまち

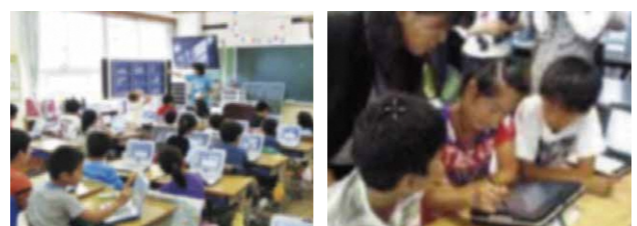
新規 学校へのタブレット導入による 新たな学びの開始 【8,033万円】

全ての小・中・特別支援学校にタブレット型パソコンを導入し、より楽しく、より分かりやすい学習を実施。



新規 みっきい・ステップ学習の導入 【左記の8,033万円に含む】

タブレットの導入にあわせて学力向上支援のためのデジタル教材を導入し、子どもたちの理解度に応じたより効果的な指導を実施。



③ 安心して暮らせるまち

新規 学校などに防犯カメラを設置 【1,375万円】

児童・生徒の安全を確保するため、全ての学校園に防犯カメラを設置。



拡充 乳がん検診の自己負担額を軽減 【1,992万円】

女性のがん罹患率が最も高い、乳がんの早期発見・治療のため、検診の自己負担額を引き下げるとともに、検診機会を充実。



令和元年度 当初予算の概要

～20年、30年先のまちを見据え、未来へつなぐ予算～

令和元年度は、「教育の充実」、「福祉の充実」、「まちの創造」など、20年、30年先のまちの将来を見据え、未来へつなぐ予算としています。

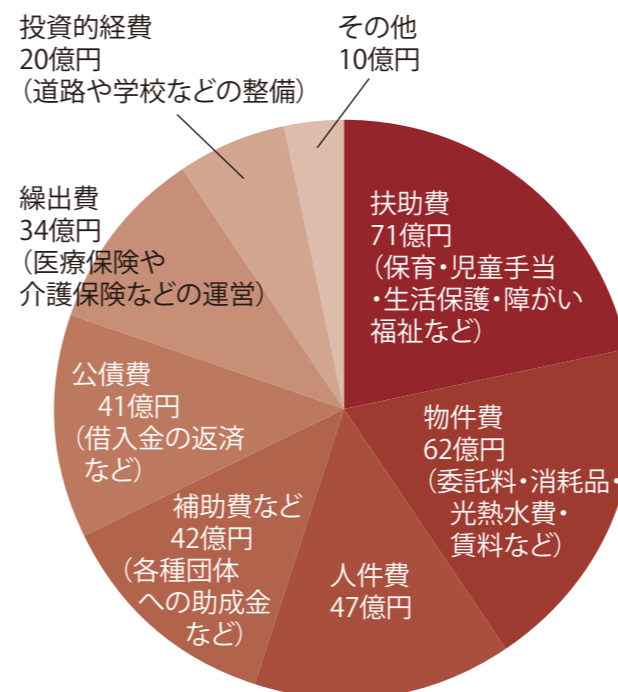
閩(市)財政課

令和元年度予算の規模

区分	令和元(平成31)年度 当初予算 (A)	平成30年度 当初予算 (B)	対前年比	
			増減額 (A-B)	増減率 (A/B)
一般会計	327億2,000万円	316億1,000万円	11億1,000万円	3.5%
特別会計				
国民健康保険	93億9,200万円	100億400万円	△6億1,200万円	△6.1%
介護保険	69億8,500万円	69億7,300万円	1,200万円	0.2%
農業共済事業	1億800万円	9,800万円	1,000万円	10.2%
後期高齢者医療事業	13億8,600万円	11億8,400万円	2億200万円	17.1%
学校給食事業	2億9,000万円	2億8,900万円	100万円	0.3%

予算の内訳(一般会計)

一般会計の歳出(327億円)



一般会計の歳入(327億円)

